

○多久市財政健全化
基本方針の積極的な推進

平成19年度当初予算編成から「各部への予算枠配分制度」を導入することで、経常経費10%、投資的経費20%の削減を行い、その後も継続しています。

○窓口業務の見直し

平成18年7月から、住民票や戸籍、印鑑登録証明及び税務関係証明の電話予約による受付を実施し、閉庁時でも当直室で受け取ることができるようにしました。

○市内バス路線運行の見直し

平成19年6月から利用者の少ない日曜日を運休しました。

○学校規模の適正化

「小中学校の円滑な繋がりと学校の課題解決のための小中一貫教育の導入」を進めます。

○定住対策の充実

平成18年12月に「多久市定住促進条例」を制定し、平成19年度から取り組みを開始した奨励金制度等につきまして、平成21年度も継続します。



○CSO(市民社会組織)との連携による地域協働の推進

平成21年度から「市民活動推進事業費補助金」制度を創設します。

○女性委員の積極的登用

「多久市男女共同参画計画」に基づき各種委員会の女性委員構成比の向上を図っています。平成20年度の登用率は、29・6%となりました。

○学校給食費の徴収体制の見直し

滞納者に対し、学校を通じて督促状を送付するようにしました。また、悪質滞納者へは「裁判所への申し立て予告通知」を送付するようにしました。

○市立病院の給食業務の民間委託

平成20年4月から市立病院の給食調理業務を民間に委託しました。

○水道事業の経営健全化

平成19年度には、佐賀西部広域水道企業団との受水料金値下げの協議がととのい、水道料金7・57%の引き下げを行いました。

○多久市議会の

行財政改革の取り組み
平成19年4月の選挙以降、議員総数を16人に削減されました。

■問い合わせ

総務部 経営統括室
企画経営係

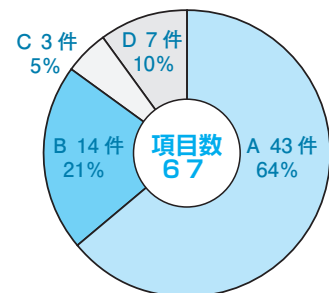
☎ 75-2116



行政改革進捗状況表

区 分	項目数	A	B	C	D
事務事業の見直し	5	2	2	0	1
民間委託等の推進	7	4	1	1	1
電子自治体の推進	8	5	1	2	0
定員管理及び給与の適正化	6	6	0	0	0
財政基盤の確立	7	5	2	0	0
効率的な行政運営	10	5	4	0	1
人材育成	6	5	0	0	1
外郭団体等の見直し	5	3	2	0	0
公営企業の経営の健全化	11	6	2	0	3
議会の行財政改革の取り組み	2	2	0	0	0
計	67	43	14	3	7

行政改革の進捗率



経費削減等の目標達成状況

	金 額	達成率
平成20年度末までの経費削減等の実績	15億6713万円	—
平成20年度末までの経費削減等の目標額	10億1937万円	153.7%
平成21年度末までの経費削減等の目標額	14億4000万円	108.8%

A	実施済または次年度実施が決定した項目
B	一部実施済で、引き続き実施に向け取り組む項目
C	実施が困難なもの、または効果が期待できない項目
D	引き続き実施に向け検討していく項目